

教育セミナー 5と6 症例 1～5の関係について

2 日目（7月5日）の午前の教育セミナー 5「臨床診断推論/症例検討」、午後の教育セミナー 6「顎関節症 痛み関連疾患 鑑別診断」とポスター会場で別枠として掲示されるポスター発表がリンクして行われる。事前にポスターで各々の症例の概要を把握していただき、セミナー 5, 6を受講していただくことにより、「臨床診断推論/症例検討」および「顎関節症 痛み関連疾患 鑑別診断」を体験し、深く理解できる。

ここで呈示される抄録は、教育セミナー 5と教育セミナー 6の中で症例検討あるいは鑑別診断呈示される5症例の概要である。5症例の症状詳細がポスター会場で一般演題とは別枠で掲示される。

症例 1（大久保昌和 発表）と症例 2（村岡渡 発表）は1日目にポスター会場に掲示し、2日目午前の教育セミナー 5で症例検討される。セミナー後にポスターに診断名等を追加して掲示する。この2症例は、午後の教育セミナー 6で演者の鑑別診断の概要が解説される。

症例 3（井川雅子 発表）、症例 4（坂本英治 発表）、症例 5（神山裕名/小見山道 発表）は、午後の教育セミナー 6で演者の鑑別診断の実際が解説される。